

令和5年度（2023年度）事業計画

1 活動方針

- 研究・研修事業の内容の工夫や改善、充実に努める。
- 加盟機関相互、諸関係機関・団体及び全教連事務局との連携・協力の強化を図る。
- 加盟機関の活動状況の紹介及び研究成果等の普及を積極的に行う。

2 事業計画

(1) 学習会等

ア 夏季所員学習会

- ・期日：令和5年（2023年）7月28日（金）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：北海道の課題や所員のニーズに対応した内容に関する講義・演習等

イ 冬季所員学習会

- ・期日：令和5年（2023年）11月24日（金）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：北海道の課題や所員のニーズに対応した内容に関する講義・演習等

ウ 令和5年度（2023年度）第78回北海道教育研究所連盟研究発表大会（十勝大会）兼全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

- ・期日：令和5年（2023年）8月31日（木）、9月1日（金）
- ・会場：十勝教育研修センター
（〒089-0531 北海道中川郡幕別町札内暁町290番地の2 TEL:0155-56-2065 FAX:0155-56-3905）
- ・内容：開会行事、全体発表、記念講演、分科会（研究発表及び協議・所長研修会）、講評、閉会行事
※定期総会後に行っていた所長研修会は、研究発表大会の分科会の1つとして実施する。
※情報交換会は実施しない。

(2) 広報活動

- ア 加盟機関の研究内容や研修事業の取組をまとめた要覧をCD-ROMで配付
- イ 研究発表大会の資料や実践事例、研究等の情報をWebページに掲載

(3) 共同研究【資料1】

- ア 研究主題：「一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて」（3年次計画の1年目）
- イ ねらい：各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力の向上に資する。
- ウ 研究内容：全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」子どもの成長を支える連携・協働体制の構築
- エ 推進委員：石狩教育研修センター、後志教育研修センター、上川教育研修センター、留萌管内教育研究所、胆振教育研究所、室蘭市教育研究所、十勝教育研究所、釧路教育研究所、札幌市教育センター、北海道教育大学へき地・小規模校教育研修センターから各1名、北海道立教育研究所から各2名 計12名
- オ 推進委員会：3回実施（①5月12日（金）、②10月20日（金）、③1月12日（金））
※全てWeb会議サービスによるオンライン開催

(4) ICT機材の貸出し

- ・令和4年度以降、事業としては終了（個別に貸出希望があれば対応する。）

3 諸会議

(1) 定期総会

- ・期日：令和5年（2023年）4月26日（水）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：令和4年度（2022年度）事業及び会計報告、監査報告、令和5年度（2023年度）事業計画案及び予算案の承認等
※定期総会後に行っていた所長研修会は、研究発表大会の分科会の1つとして実施する。

(2) 委員会

- ・期日：令和6年（2023年）2月7日（水）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：令和5年度（2023年度）事業及び会計決算、令和6年度（2024年度）事業計画案及び会計予算案等に係る審議

北海道教育研究所連盟第18次共同研究（令和5年度～令和7年度）概要
一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて

ねらい

各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力の向上に資する。

研究内容 1 全ての子どもたちの可能性を引き出す 「個別最適な学び」と「協働的な学び」	研究内容 2 子どもの成長を支える 連携・協働体制の構築
(1) 実践事例の収集 ※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に係る実践事例等の収集 (2) 「指導案バンク」の作成・運営 ※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に係る実践事例等についての相互交流の場とする。 (3) 各教育研究所・研修センター相互のつながりを深めるICTを活用した連携・協働体制の構築 (4) 実践事例を基にした参考資料（リーフレット）の作成・周知	(1) 各教育研究所・研修センターに蓄積された教育実践の共有 ア 専門性の高い研修の実践 イ 個々の学校のニーズに応じた研修支援 ウ 校種横断的な実践の推進に係る支援 ※これまで蓄積された教育実践を、クラウド等を活用して道研連加盟機関で共有する。 (2) 各教育研究所・研修センターの協働体制の構築 ア 複数の教育研究所・研修センターが連携した遠隔型研修の実施 イ 他の機関における公開研究授業等への参加
作成・収集する事例や研究内容に係る業務推進について	
(1) 「個別最適な学び」に関する授業実践例 ア 指導の個別化 子ども一人一人の特性・学習進度・学習到達度に応じた指導方法・教材等の工夫 イ 学習の個性化 子ども一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じた学習活動や課題に取り組む機会の設定 (2) 「協働的な学び」に関する授業実践例 多様な他者と協働し、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す学習活動や場面の設定	(1) 各教育研究所・研修センターに蓄積された教育実践の共有 ア 専門性の高い研修の実践 イ 個々の学校のニーズに応じた研修支援 ウ 校種横断的な実践の推進に係る支援 ※これまで蓄積された教育実践を、クラウド等を活用して道研連加盟機関で共有する。 (2) 各教育研究所・研修センターの協働体制の構築 ア 複数の教育研究所・研修センターが連携した遠隔型研修の実施 イ 他の機関における公開研究授業等への参加

第18次共同研究推進計画

	研究内容 1	研究内容 2		研究発表大会
令和5年度 <1年次>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に目指した実践事例の収集 ○ 収集した実践事例の分析 ○ 「指導案バンク」への掲載事例の収集・作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教育研究所・研修センターに蓄積された効果的な教育実践の共有 ○ 共有する内容の精選及び共有する方法の検討 	<1年次～3年次> ○ 夏季所員学習会における所員の力量向上 ○ Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有 ○ 研究発表大会における研究発表及び協議	十勝大会 令和5年 8月31日 9月1日
令和6年度 <2年次>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各域内の学校の実践事例の収集及び分析 ○ 「指導案バンク」の運営、普及・還元 ○ 参考資料（リーフレット）の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを活用した各教育研究所・研修センターの教育実践の共有 ○ 複数の加盟機関が連携した研修や授業研究の計画・実施 		網走大会 令和6年 月 日 (未定)
令和7年度 <3年次>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実にに向けた参考資料の作成 ○ 「指導案バンク」の普及・還元 ○ 研究成果の普及・還元 ・指導資料（冊子等）のWebページ上での公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを活用した各教育研究所・研修センターの教育実践の普及・還元 ○ 複数の加盟機関が連携した研修や授業研究の実施 ○ 加盟機関の連携・協働体制の評価・改善 		胆振大会 令和7年 月 日 (未定)